



吉田 稔 筆

令和元年 10月 No.131

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域

国登録有形文化財 伊藤家住宅で 多世代交流フェスティバル



きつね山に集う人々

6月1日(土)、増尾地域では初めて国の登録有形文化財になった伊藤家住宅とその裏庭のきつね山歴史公園において地区社協部主催「多世代交流フェスティバル」を開催しました。

200年もの歴史を刻んだ茅葺屋根の主屋では、地元オヤジバンドの懐かしいフォークコンサート。中庭では、介護老人保健施設「回生の里」職員による太鼓隊「車風」の勇ましい和太鼓演奏。どちらも大人気で大勢の観客で盛り上がりました。

一方、裏山のきつね山歴史公園ではボランティアによる、おもち、フランクフルト、焼きとり、焼きそば、チジミなどの模擬店やボランティア団体「ぶどうの木」の野菜販売が行われました。木々に囲まれた広場は、手作り竹水鉄砲ゲーム、ヨーヨー釣り、おもちつき体験などで楽しく遊ぶ子どもたちでにぎわいました。森の中で遊べるきつね山でのイベントは、若い親子連れにとって大満足の1日になったようです。

今回のこのイベントには600名程の老若男女が集い、増尾の新しい“パワースポット”になりました。今後も

この場所でさまざまなイベントやサロン活動を行う予定です。四季折々に、増尾の名所としてきつね山を訪れてみてください。
地区社協部 押味 富士子

国登録有形文化財

原則築50年を過ぎ、(1)地域の歴史的景観に貢献(2)時代の特色を生かした造形(3)再現が困難、のいずれかが基準となる。

伊藤家住宅主屋

ほか

登録内容

6棟(住宅主屋、離れ、隠居屋、土蔵、牛小屋、井戸上屋)

登録日

平成30年11月2日



一番人気はキャタピラ 文化体育部

6月23日(日)、増尾近隣センター体育室でちびっこ体操教室を開催。就学前のちびっこ21名、保護者20名が集まりました。今年も講師は石原由紀子先生。パワーアップし更に元気な先生の指導のもと、ちびっこたちは体育室狭しとはしゃぎまわり、保護者も汗だくに。一番人気は段ボールのキャタピラでした。今年の保護者の方々は、子どもと一緒に元気いっぱい遊ぶ姿が印象的でした。

文化体育部 小林 みつえ



つお父さん、お母さんがんば



重くて汗ダクダク!!

夏休み企画 二人でクッキング

8月4日(日)、増尾近隣センター調理室で地区社協部主催の夏休み企画「二人でクッキング」を開催し、12組25名の親子が参加しました。土小学校、柏第八小学校、名戸ケ谷小学校の1年生から6年生までの学校の違う子どもたちが仲良く参加できるのもふるさと協議会の行事ならではのです。

メニューはオムライス、フルーツサンド、和風マカロニスープ、クッキーが並ぶランチプレートです。どれも簡単で夏休み中にもう一度作ってもらえるようなメニューにしました。フルーツサンドのポイントはフルーツの並べ方。フルーツの切り口がきれいに見えるように並べます。クッキーは、ビニール袋に材料を入れて混ぜるので簡単にできます。洗い物が出ないのも楽でした。バター分量の半分をサラダ油にすることで食感が軽くなります。同じ材料とレシピですが、作り手によっていろいろな形に仕上がりました。オムライスと和風マカロニスープも簡単においしく作ることができ、みんな満足、笑顔あふれるランチタイムになりました。

地区社協部 風間 理恵



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

第一住宅増尾団地自治会

第一住宅増尾団地自治会



当自治会は、増尾駅に近い「ますお幼稚園」から県道脇の通称つばめ池までの水路に沿って長く延びた住宅地にあり、約330世帯で構成されています。

当団地の初期の形成は、昭和49年に第一期の入居が開始され、昭和53年3月が最終の入居となっています。当初は会員の年齢も若く、数年前までは盆踊りや模擬店などの夏祭りを自治会主催で行っていましたが、会員の年齢が高くなってきたため開催が難しくなりました。今後、少子高齢化への対応が、自治会の大きな課題となっています。

現在の主要活動のひとつとして自主防災活動があります。3.11の東日本大震災を契機とした防災意識

の高まりの中で5年ほど前に、従来の組織を進化させた「自主防災組織」が発足しました。2

次的被害の最小化を目的に、毎年、活発に避難訓練や防災知識の普及活動などを行っています。

また、福祉活動の強化として、高齢や障がいなどで支援を要する人に、自治会員が相互に協力して可能なサービスを提供することを目的に「助け合いネットワーク」が設立されています。

会員が参加しやすい自治会を目指して、これからも活動を行っていきたくと思います。

会長 奥村 泰雄

救急救命講習会開催

防犯防災部

7月6日(土)、増尾近隣センター2階会議室で、普通救命講習を柏市消防局東部消防署の隊長ほか5名の消防隊・救急隊に指導をいただきました。参加者は再受講者2名を含む男女12名ずつの24名。年齢は19歳から81歳と幅広く、ご夫婦での参加が3組あり、この講習会が地域に定着してきたことを実感しました。

常に現場に赴き救命にあたる隊員の指導は相変わらず厳しいものですが、4つのブースのどこからも活発な質問があり、参加者の意欲に感心させられました。

今年度2回目の講習は、来年2月8日(土)に同じ内容



で予定しています。ぜひ参加して「大切な命を自分自身の手で救うことができるのだ!」ということを経験してください。

防犯防災部
間宮 節子

コミュニティのこのこ1周年

アニバーサリーランチ会

高齢者の通い場事業として、昨年6月に発足した「コミュニティのこのこ」が1周年を迎え、6月28日(金)に会場の増尾ふるさと会館でアニバーサリーランチ会を開催しました。スタッフ手作りの食事とゲームを楽しむ、ささやかながら心温まる会でした。

定期的に行われるカラオケや健康麻雀、自彊(じきょう)術などは心待ちにしている方が大勢います。専門家による医療講座や栄養講座、フラワーアレンジメント、折り紙も人気の催しです。歴史講座やハイキングもあります。今年度は詩吟講座も始めました。活動の様子は、ホームページで詳しく紹介しています。

申し込み不要ですので気軽にご参加ください。

対象 地域の高齢者の皆さん
会場 増尾ふるさと会館
日時 毎週金曜日 午前9時30分から12時30分
参加費 100円(飲み物付き)

地区社協部

「のこのこ」後期予定表

10月	11月	12月	1月	2月	3月
4 カラオケ	1 カラオケ	6 カラオケ	3 お休み	7 カラオケ	6 カラオケ
11 てんとう(転倒)虫テスト	8 健康麻雀	13 自彊術	10 体操	14 お楽しみ会	13 フレイル予防 体のネジしめ体操
18 健康麻雀	15 体操	20 ベルハーモニー	17 健康麻雀	21 体操	20 お休み
25 ハイキング	22 クロダマハウス(音楽喫茶)	27 門松作り	24 栄養講座	28 折り紙	27 健康麻雀
	29 折り紙		31 歴史講座		

※予定は変更になることがあります

ホテルに感激の声

文化体育部

7月2日(火)、文化体育部主催のホテル見学会を行いました。雨が続き天候が心配でしたが当日は曇りとなり、赤ちゃんから80代までの70名が集まりました。増尾近隣センター前駐車場に集合して19時30分に出発。中原小学校下の増尾の森には10分程で到着しました。

毎年ご協力をいただいている「柏ホテルの会」会長の井ノ崎史さんから、森の整備に始まり、幼虫の餌の世話をして育て放流するまでの1年間の様子を教えてくださいました。当日は、気温が上がらず心配しましたが、暗い道をおそるおそる森に入っていくと、ポツと光るホテルを発見。「いた。いた。光ってる!」、「アッ、飛んでる!」と感激の声。「初めて見ました」、「来年もまた来ます」など弾んだ声も聞かれました。

「柏ホテルの会」は少しずつ高齢化が進んでいます。ホテルに興味のある方、ボランティアをしてみませんか。

文化体育部 小林 みつえ

大規模災害に備えて

防犯防災部

大規模な地震の発生確率は、千葉市で今後30年間に起こる確率が85%と全国でも一番の高さと発表されており、柏市でも同程度の確率が予想されます。

これを受け防犯防災部は、増尾地域ふるさと協議会内17町・自治会(約6,400世帯、21,000名)の地域全体の防災力向上を目指し活動しています。大規模災害時、自分の命は自分で守るという自助(家具転倒防止、水・食料の備蓄)が基本ですが、町・自治会の自主防災組織による安否確認、救助活動などの助け合い支え合う共助の体制も重要です。これらについては、各町・自治会において防災啓蒙、防災訓練を実施されていると思います。

防犯防災部では、町・自治会の枠を超えた広域な防災体制を整え、行政からの支援(公助)が十分に届くまで、地域住民で乗り越えられるようにしたいと思っています。具体的には、平成25年、26年に17町・自治会長、防災会役員と増尾地域防災対策懇談会を4回開催。ノウハウの共有を図り、平成27年に17町・自治会合同災害訓練を実施しました。防災意識の低い町・自治会も参加し増尾全体の防災意識が高まりました。平成28年には柏市の総合防災訓練に増尾地域が選定され、柏市で初めての住民参加の訓練が行われました。

行政に頼った避難所運営には限界があります。避難住民による運営はきめ細かな対応が取れることから、平成29年、30年、令和元年は、避難所運営委員会が主体となった訓練を避難所単位で行っています。

今後も「想定内の事を想定外にしない」ために全町・自治会の協力を得ながら推進していきますので、地域住民ひとりひとりのご協力をお願いいたします。

防犯防災部 志水 房夫

ふるさと協議会からのお知らせ

10月3日、10日、17日、24日、31日(毎木曜日)
アロマ基礎講座(5回)

11月2日(土) 地域ふれあいのつどい

11月2日(土)~3日(日) 文化祭

11月2日(土)~3日(日) 環境フェア2019 パネル展

11月24日(日) ちいき探検ウォーキング

12月1日(日) つくってあそぼ Prat7

12月22日(日) 年末夜間パトロール

※詳細は回覧、チラシなどでお知らせします。

名戸ヶ谷法林寺で「幽霊・妖怪展」 地獄へようこそ

名戸ヶ谷の法林寺本堂で、8月1日(木)から5日(月)まで、恒例の「幽霊・妖怪展」が法林寺檀家主催、名戸ヶ谷町会協賛、柏市教育委員会後援で開催され、約400名が訪れました。

この「幽霊・妖怪展」は、法林寺や檀家である藪崎家の彌惣治コレクションの中から、毎年テーマに沿った作品を厳選して展示し、貴重な美術品を間近で鑑賞できる機会として地域に定着しています。今回のテーマは「地獄へようこそ」。梶野玄山「地獄太夫」(彌惣治文庫文芸資料館提供)や伊藤晴雨の「幽霊図」などが会場を飾りました。

会の運営は名戸ヶ谷町会の全面的な協力で行われています。家族連れに楽しんでもらおうと設けられたコーナーは、名戸ヶ谷在住のデザイナー山岸久夫・めぐみ夫妻が企画。閻魔(えんま)大王や鬼の被り物は久夫さんが、公式キャラクター「ホウリンくん」(大イチョウの精霊)はめぐみさんがデザイン・製作をしました。

入り口の看板に「年々バージョンアップ」とありましたが、期待を裏切らない展覧会でした。 総務広報部



どこか憎めない閻魔大王と鬼たち



ホウリンくんです。ヨロシクネ

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4水曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋(TEL 7172-4683)まで、お問い合わせください。